

近畿地方整備局
資料配布

配布日時	平成18年10月23日 14:00
------	----------------------

件名	<b>10月24日よりエコロード・キャンペーンを実施します</b> ～京都議定書のCO2削減目標達成のために～
----	--

概要	国土交通省は、エコドライブや高速道路の利用促進など国民と連携した取組を実施するため、実行委員会を組織し、「 <u>エコロード・キャンペーン</u> 」と題し、10月24日よりCO2削減を目標とした啓発活動を実施します。 また、近畿地方整備局管内のエコロード・キャンペーンの取組内容を御紹介します。
----	---

取り扱い	テレビ・ラジオ： -
	新聞： -

配布場所	近畿建設記者クラブ
	大手前記者クラブ

問い合わせ先	<p>キャンペーン全般については 近畿地方整備局 道路部 道路計画第一課長 石井 克尚（内線4211） 電話：06-6941-7435（直通） 計画調整課長 橋本 拓己（内線4311） 電話：06-6942-1141（代表） 06-6947-7440（直通）</p>
	<p>阪神高速道路株式会社 交通環境室 環境企画グループ グループ長 亀田 保彦 電話：06-4963-5699（直通）</p> <p>重点地区の取組内容については 京都国道事務所 調査課長 中島 廣長（内線451） 電話：075-351-3300 大阪国道事務所 地域調整課長 吉村 英二（内線461） 電話：06-6932-1421 奈良国道事務所 調査第二課長 粟津 誠一（内線461） 電話：0742-33-1391</p>

**(1) 目的**

京都議定書の目的を達成するため、道路行政においては、昨年12月に地球温暖化防止のために道路政策会議より報告を受けた「CO2削減アクションプログラム」の概要に基づき各種施策を推進しているところですが、従来から実施している道路整備などのハード施策や路上工事の縮減等のソフト施策といった道路管理者としての取組だけでなく、エコドライブや高速道路の利用促進など国民と連携した取組を実施する必要があります。

このため、平成18年10月24日より「エコロード・キャンペーン」と題して、CO2削減を目標とした啓発活動を実施致します。

「CO2削減アクションプログラム」について ・・・参考1

**(2) 実施主体**

主 催

エコロード・キャンペーン実行委員会

後 援

(社)日本自動車工業会、(社)日本自動車販売協会連合会

(社)全日本トラック協会、(社)日本バス協会

(社)日本自動車連盟、全国地方新聞社連合会

**(3) 実施期間**

平成18年10月24日～平成20年3月(予定)まで

国民に分かりやすくキャンペーンの取り組みをPRするため、キャンペーン専用WEBサイト(eco-road.jp)を開設します。また全国で共通のポスター、パンフレット、ステッカーを活用することで国民に幅広くキャンペーンの取り組みへの参加を呼びかけます。

さらに、特に国民と一体となって重点的にCO2削減の取り組みを実施する「重点地区」[近畿管内は京都府、大阪市、奈良県(全国14地点:平成18年度)]において、公共交通機関の利用促進など国民と連携した施策を促進します。

---

資料1  
エコロード・キャンペーンについて

2006年10月23日

エコロード・キャンペーン実行委員会

## 1. キャンペーン目的

京都議定書の目標達成のためには自動車交通からのCO<sub>2</sub>排出量の削減が不可欠となっています。道路行政においては、CO<sub>2</sub>削減目標を達成するため、昨年12月に地球温暖化防止のための道路政策会議より報告を受けた「CO<sub>2</sub>削減アクションプログラム」（詳細は「参考資料1（P.9～P.15）」を参照）の概要に基づき各種施策を推進しているところですが、従来から実施している道路整備などのハード施策や路上工事の縮減等のソフト施策といった道路管理者としての取り組みだけでなく、エコドライブや高速道路の利用促進など国民と連携した取り組みを実施するため、「エコロード・キャンペーン」を実施します。

京都議定書目標達成計画策定(2005年4月閣議決定)

運輸部門に割り当てられたCO<sub>2</sub>排出量の目標値(2010年)は約2億5,000万t

道路政策では、約800万tのCO<sub>2</sub>削減を目標

CO<sub>2</sub>削減アクションプログラムの推進

国民との連携が必要な施策について

### エコロード・キャンペーンの実施

CO<sub>2</sub>削減施策への国民の参加促進

(行動喚起に向けた機運醸成と情報発信)

- ・エコドライブの推進
- ・高速道路の利用促進
- ・VICS、ETCの普及促進 等

### (1) 実施主体

#### 主催

エコロード・キャンペーン実行委員会

(国土交通省道路局、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社)

#### 後援

(社)日本自動車工業会、(社)日本自動車販売協会連合会、  
(社)全日本トラック協会、(社)日本バス協会  
(社)日本自動車連盟、全国地方新聞社連合会

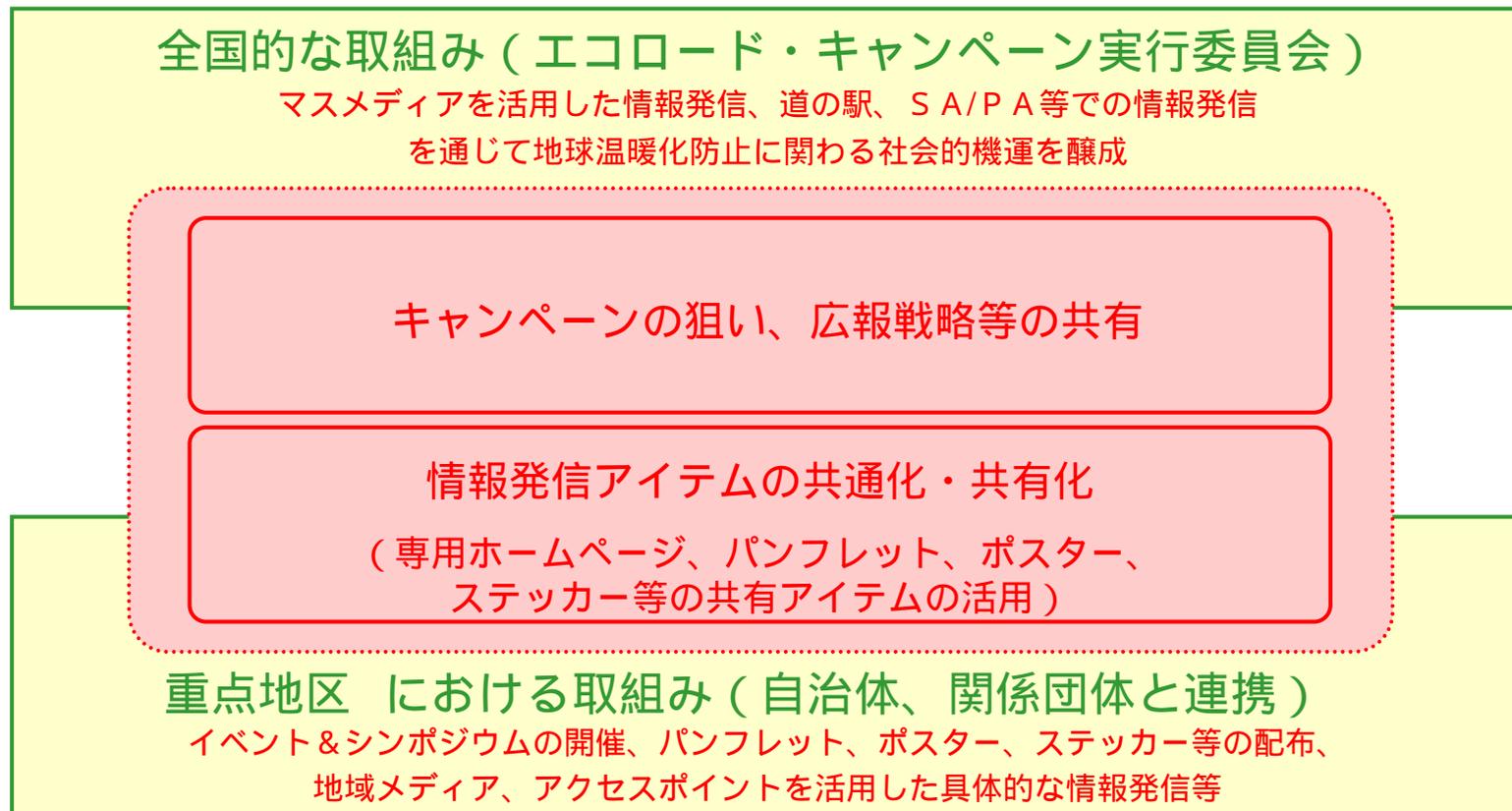
### (2) 実施期間

平成18年10月24日 から 平成20年3月(予定) まで

### 3. キャンペーンの内容

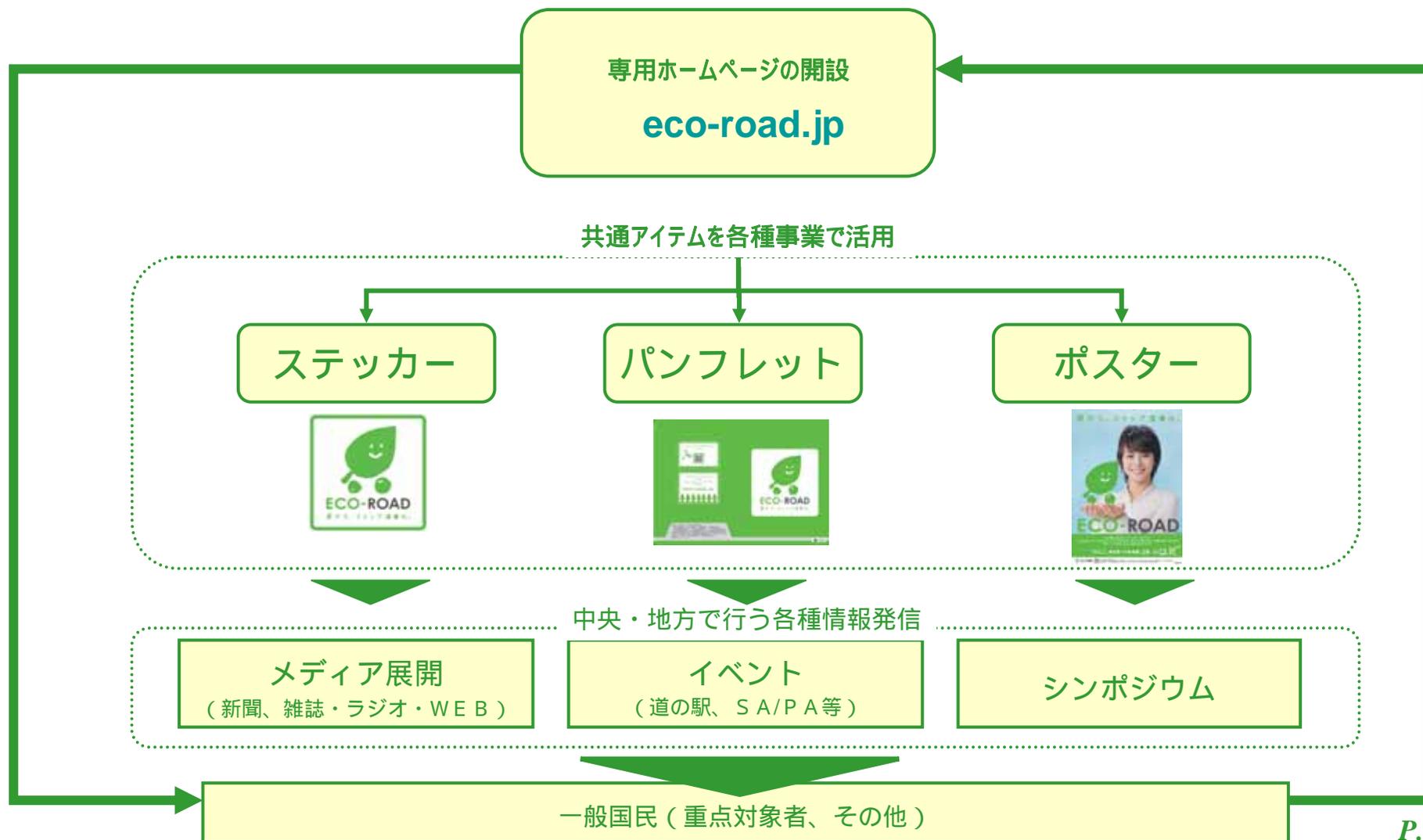
マスメディアを活用した情報発信、道の駅、SA/PA等での情報発信を通じて地球温暖化防止に関わる社会的機運の醸成を図り、エコドライブや高速道路の利用促進など国民と連携した取り組みを実施します。

さらに、国民と一体となって重点的にCO<sub>2</sub>削減の取り組みを実施する「重点地区」（全国14地区：平成18年度）において、公共交通機関の利用促進など国民と連携した施策を促進します。



## 4. 具体的な情報発信の方法

国民に幅広くキャンペーンの取り組みへの参加を呼びかけるため、全国で共通のポスター、パンフレット、ステッカーを活用するとともに、HP、マスメディア、各種イベントによる情報発信を行います。



## 5. 重点PRテーマ

---

### エコドライブの推進

ふんわりアクセル『eスタート』 加減速の少ない運転  
早めのアクセルオフ エアコンの使用を控えめに  
アイドリングストップ 暖機運転は適切に 道路交通情報の活用  
タイヤの空気圧をこまめにチェック 不要な荷物は積まずに走行  
駐車場所に注意

### CO2削減に向けた各種取り組みの実施

#### 高速道路の利用促進

一般道路のように交差点のない高速道路は安定した速度でスムーズに走れるので、CO<sub>2</sub>の排出は少なくなります。

#### ETC、VICSの普及促進

ETCを活用することで、料金所での一旦停止がなくなり、料金所付近の渋滞が解消されます。

#### 重点地区で取り組む施策の推進

公共交通機関の利用促進などの各種取り組みを実施し、CO<sub>2</sub>排出量を削減します。

## 6. 重点地区の取り組み (詳細は「参考資料2 (P.17～P.19)」を参照)

国土交通省では、渋滞によりCO<sub>2</sub>排出量が多く、CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みの効果が大きい地域を重点地区(平成18年度現在14地区)に選定しています。

これらの地域において、自治体、関係団体と連携しながらエコドライブの普及、高速道路の利用促進を図るほか、公共交通機関の利用促進などの各種取り組みを実施しています。



## 7. キャンペーン専用WEBサイトの紹介 (eco-road.jp)

「エコドライブの10のすすめ」、「道路ってエコ」等のコーナーを作り、国民に分かりやすくキャンペーンの取り組みをPRします。また、エコドライブミュージックゲーム等エンターテインメント性のあるコンテンツも加えることで、楽しくエコドライブを理解できるように工夫しています。

1

2

3

1

2

3

1

2

3

## 8.パンフレットの紹介

全国の道の駅、SA / PAなどのイベント等でエコロード・キャンペーンのパンフレットを配布します。パンフレットの中では、エコドライブの実践方法やその効果を分かりやすく紹介しています。

品切れ等によりお渡しできないことがありますのでご了承下さい。

**道から、ストップ温暖化。**  
“エコロード・キャンペーン”って何？

地球温暖化の原因となっているCO<sub>2</sub>。車から排出されるCO<sub>2</sub>が、全体の約2割を占めています。ドライバーひとりひとりの力によって、道からCO<sub>2</sub>を少しでも減らしていこうとする運動。それが「エコロード・キャンペーン」です。

ドライバーのみなさんが、運転のしかたや、車について、ほんのすこし気にかけるだけで燃費がよくなり、CO<sub>2</sub>の排出が減り、車にも環境にもやさしくなる。そんな「エコドライブ」を、さっそく今日から始めてみませんか？

ちょっとの気づきで、みんながうれしい。  
「エコドライブ10のすすめ」

**すこしの時間でもアイドリング・ストップ**

車内で人を待ったり、荷物の積み下ろしで短時間停車。ちょっとの間だからと、アイドリングしていませんか？でもたった5分で65ccを消費してしまいます。アイドリング・ストップを心がけましょう。

このエコドライブで年間およそ、**0.7\***のガソリンを減らすことができます。

**ふんわりアクセル「eスタート」でやさしく発進**

10回の急発進で170ccの燃料を消費するうえ、エンジンにもダメージを与えてしまいます。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。無理に急発進を待って、ゆっくだりした発進で運転しましょう。

このエコドライブで年間およそ、**1.8\***のガソリンを減らすことができます。

たまにはエアコンを切ってみよう

エアコンの使用はエンジンに負担をかけることに。特に真夏の涼や冬の暖房には注意。天気のいい日は、窓を開けてドライブしてみては？気持ちがいいし、エコにもいいですよ。

エコドライブの実践方法とその効果について紹介

**タイヤの空気圧で快適ドライブ**

右左のタイヤの空気圧。増えたタイヤで50km走行した場合、寿命にも影響してきます。もまめに点検して、燃費のいい走り。

**1.6\***のガソリンを減らすことができます。

**不要な荷物とドライブしていませんか？**

トランクに入っている不要なものたち。これらの重みもエコドライブにとっては、まさに“お荷物”。10kgの物（たとえばゴルフバッグ1袋）を載せれば、50km走行すると燃料15ccのムダになります。

このエコドライブで年間およそ、**0.2\***のガソリンを減らすことができます。

**環状道路が完成すれば、CO<sub>2</sub>が減ります。**

都市部の渋滞は、おもに「通過するだけ」の車が原因。これは、どこへ行くにも都市の中心部を通らなければならないことが多いからです。そこで環状道路が完成すれば、都市の中心部を迂回する車が減り、渋滞が緩和するのでスピードアップが図れて、CO<sub>2</sub>排出量を減らすことができます。たとえば、首都圏の三環状がすべて完成すると、東京23区の3〜4割の渋滞の量が吸収するだけのCO<sub>2</sub>を削減できるのです。

**おでかけルートは計画的に**

道に迷うと時間がかかるし、無駄な燃料も消費。1分あたり走ると、35ccのムダになります。地図やナビシステムを活用して、スムーズで効率のいい運転を。

このエコドライブで年間およそ、**0.4\***のガソリンを減らすことができます。

**エンジンをかけたらすぐ出発**

ガソリン乗用車の燃費は不要です。寒冷地など特別な状況を除いて、走りながらウォームアップ走行で充分。5分後発進すると、180ccの燃料を消費してしまいます。

このエコドライブで年間およそ、**1.7\***のガソリンを減らすことができます。

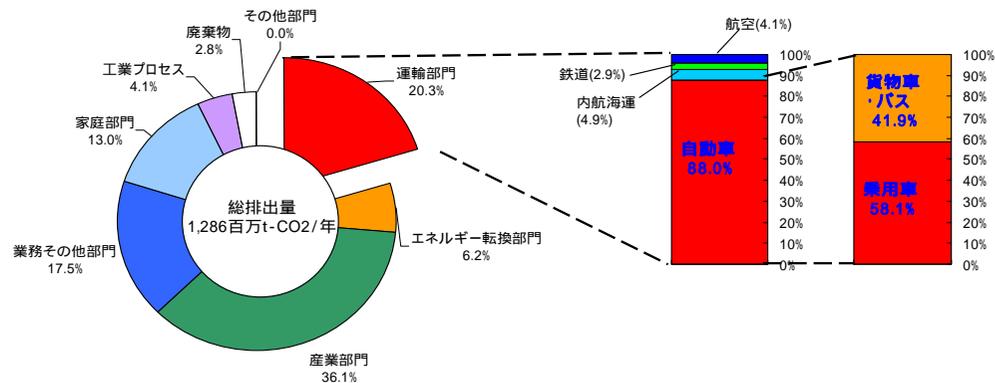
---

(参考1)  
「CO2削減アクションプログラム」の概要

# 「CO2削減アクションプログラム」の概要 (H17.12地球温暖化防止のための道路政策会議より報告)

## 【日本におけるCO2排出の現状】

- ・ CO2排出量のうち、運輸部門は21%で、その約9割が自動車
  - ・ さらに自動車のうち、乗用車が約6割
  - ・ 貨物車からは減少（5年で11%減少）
  - ・ 乗用車からは増加（5年で9%増加）
- 乗用車からのCO2排出量削減が課題となっています。**



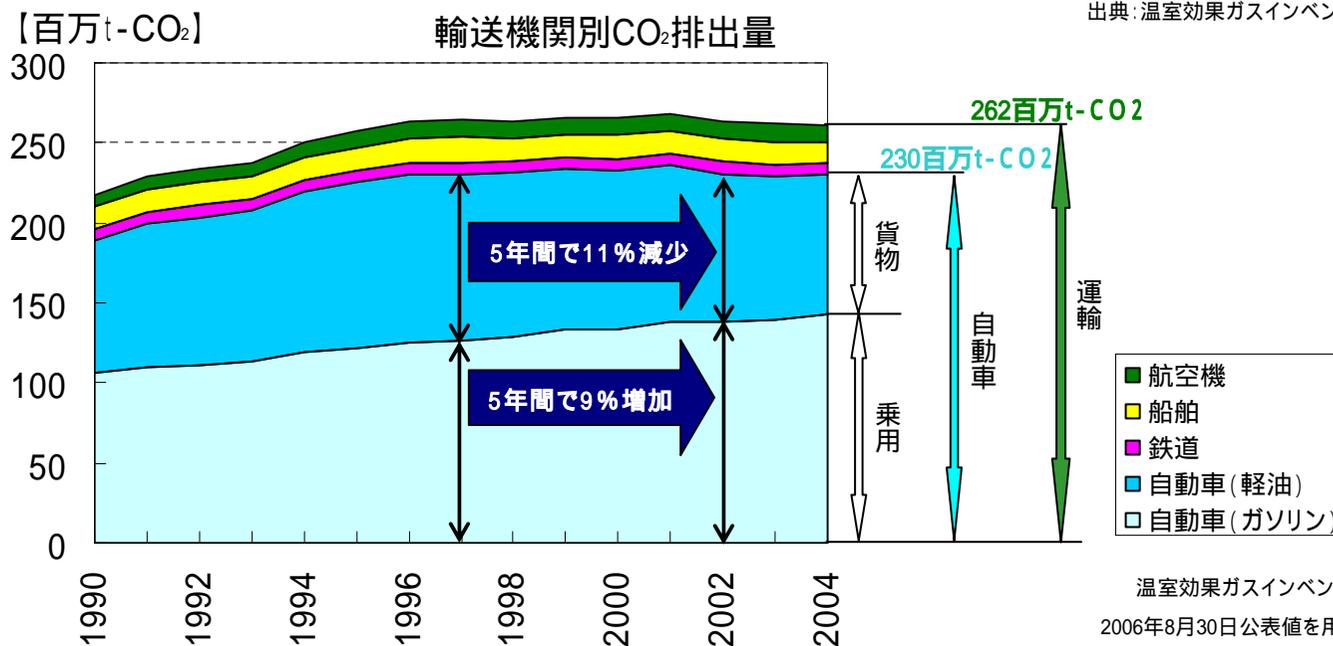
部門別CO2排出量内訳

運輸部門CO2排出量内訳

(2004年度)

(2004年度)

出典：温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)公表値(2006.8.30)より作成

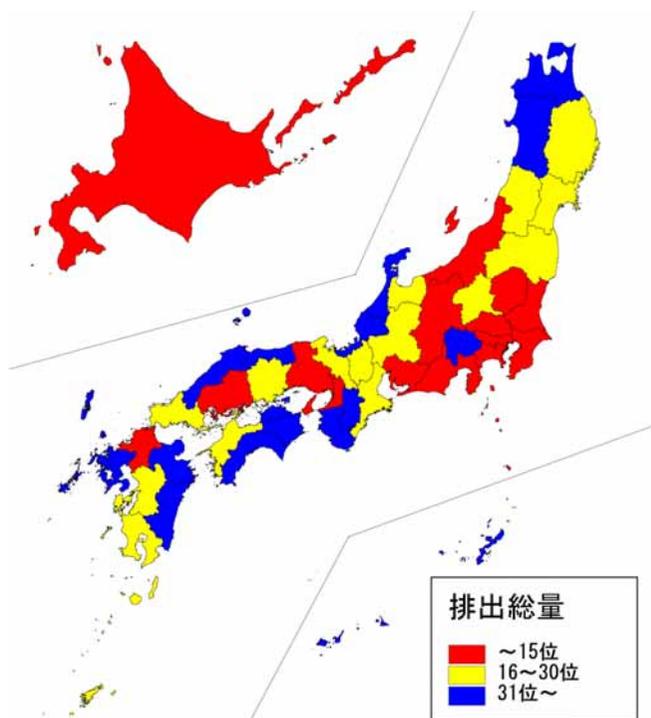


温室効果ガスインベントリオフィス(GIO)、  
2006年8月30日公表値を用いて作成

## 【自動車交通からの地域別CO2排出量】

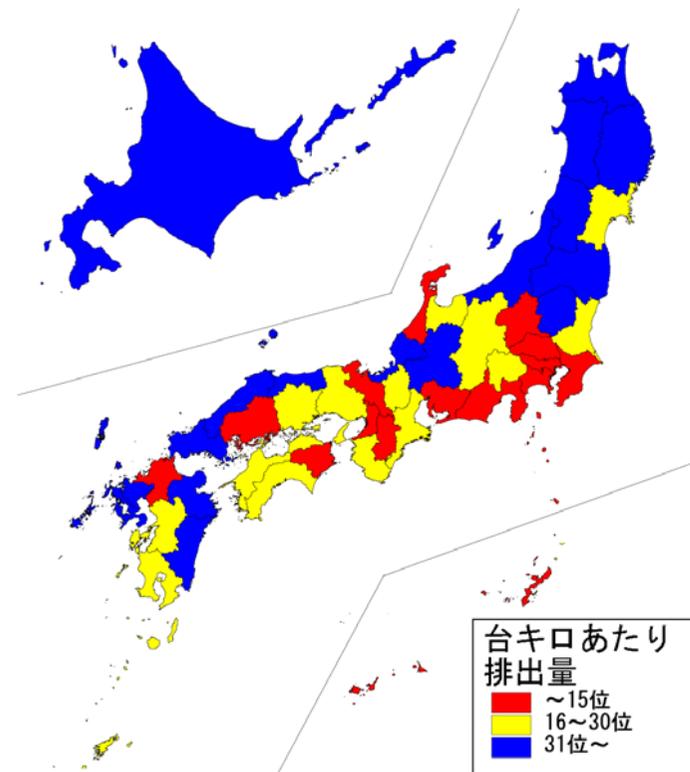
自動車交通から発生するCO2排出量の分布は、交通需要の絶対量が多い大都市圏を中心に排出総量が多く、また、単位走行量（台キロ）あたりの排出量も、渋滞が激しい大都市圏で高い傾向にあります。

このように、特にCO2が多く排出されている地域・区域を重点的にメリハリをつけてCO2排出量削減対策を講じていく必要があります。



(H11年道路交通センサスを元に作成)

CO2排出量の分布



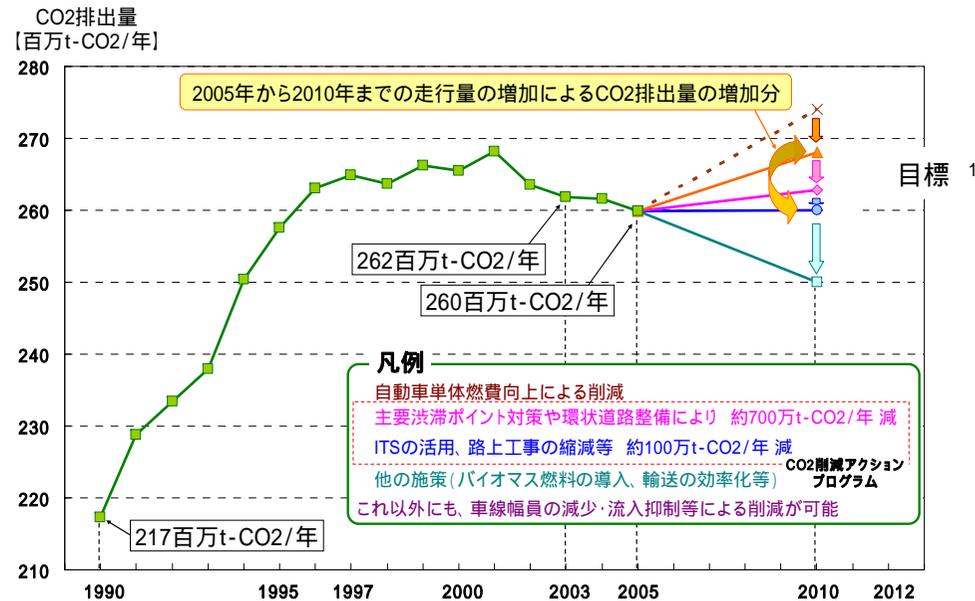
(H11年道路交通センサスを元に作成)

単位走行量(台キロ)あたりCO2排出量の分布

## 【当面のCO2削減目標】

2010年までに自動車交通需要の拡大とこれに伴う渋滞により、自動車交通全体の走行量（台・km）は全体で約3%増加すると見込まれており、その結果、CO2排出量は約800万t-CO2/年増加すると推定されています。

このような状況の中で、今後、主要渋滞ポイント対策や環状道路整備により約700万t-CO2/年の削減、及びITSの活用促進や路上工事の縮減等により約100万t-CO2/年の削減を図り、今後少なくとも自動車交通からのCO2排出量が増加しないような政策を進めていくことを当面の目標としています。



1 目標：京都議定書達成計画の目標

2 2005年のCO2排出量は過去5年（2000年～2004年）の値よりトレンドで推計

温室効果ガスインベントリオフィス（GIO）、2006年8月30日公表値を用いて作成

## 【施策の体系】

当面の目標 800万t - CO<sub>2</sub>/年のCO<sub>2</sub>排出量の削減に向けて、2012年までの期間に下記に示す施策を実施していきます。

### 人と車のかかわり方の再考

不要・不急の自動車利用を控える等  
個々人の自動車利用パターンの見直し  
を促進するため、地域住民等との見直し  
の動機づけになるようなコミュニ  
ケーションを実施する

1. 市街地の渋滞を減らすため、郊外の地域住民などに、公共交通機関による市街地へのアクセスに関する世帯毎の個別の方法やマップを郵送、訪問等による情報提供を実施。
2. 個々人の自動車利用パターンの適正化によるCO<sub>2</sub>削減効果をポスターやTV等で情報提供することで個々人の取り組みを促進。

公共交通の利便性を向上し、自動車  
交通から公共交通への転換を図る

1. 交通結節点の改善による交通機関の連携強化、LR T走行空間整備等の公共交通機関支援事業を実施。
2. 自転車走行空間や駐輪場等の自転車利用環境を整備・支援。
3. 公共交通利用によるCO<sub>2</sub>削減効果を国民に広く情報提供することで、国民全体の公共交通利用を促進。

アイドリングストップ等のエコドライ  
ブを推進し、走行時の燃料の向上を図  
る

1. エコドライブの効果等についての啓発活動等エコドライブキャンペーンを実施。
2. 全国の道路事務所において、パトロールカー等における「エコドライブ」の徹底を図る。
  - ・エコドライブ講習会の実施
  - ・パトロールカー等にデジタルタコグラフ等を導入

荷主・物流事業者と一体となって環境  
負荷の少ない貨物輸送を推進する

1. 荷主や物流事業者と一体となってCO<sub>2</sub>削減に取り組む地方公共団体の支援を実施。
2. 国土交通省の実施する工事については、工事から発生する廃棄物を運搬する際に生じる二酸化炭素の削減を図るため、運搬ルートの設定等に配慮する旨をグリーン購入法に基づく国土交通省の調達方針に規定。

渋滞がなくスムーズに走れる道路の実現

都心部の渋滞解消等CO<sub>2</sub>排出抑制効果の高い環状道路等を重点的に整備する

平成20年代半ばまでに首都圏三環状道路について、全体の9割の完成を図る。

CO<sub>2</sub>排出量の集中する主要渋滞ポイントの渋滞解消及びボトルネック踏み切りの除去を推進する

全国で約1,800箇所の主要渋滞ポイント及び約540箇所のボトルネック踏切等で対策を実施。

バイパス等の整備とその旧道や周辺的生活道路の車道幅員を減少させる等の措置をパッケージ化して進める

バイパス等が完成した地域において、これまで抜け道となっている道路等で、車道幅員の減少、植樹・歩道整備等の市街地部への通過交通を減らす施策を行い、人と環境に優しい道路づくりを実現する。

自動車交通をCO<sub>2</sub>排出量の少ない高速道路へ一般道路からの転換を図る

1. 多様で弾力的な料金政策
2. スマートICの本格実施
3. ミッシングリンク（不連続区間）の整備

渋滞の主要な原因の1つである路上工事を縮減する

直轄国道における1kmあたりの年間路上工事時間を平成19年度までに4割縮減する。（平成14年度比）  
・共同施工、集中工事の実施  
・年末・年度末の工事抑制 等

道路空間の活用・工夫によるCO2削減

道路空間内の緑化を進めCO2の吸収量の増大を図る

1. 街路樹の維持・管理等を適切に行うとともに、今後新たに供用予定の道路においても、積極的に道路緑化を推進。
2. 全国的高速道路及び直轄国道の盛土のり面において、積極的に面的な道路緑化（樹林化）を推進

打ち水効果を高める保水性舗装等の導入を促進する

ヒートアイランド現象が顕著である大都市圏を中心として、一定規模以上で面的に実施する箇所において、散水により路面温度を下げる保水性舗装等の敷設を実施。

道路照明に太陽光・風力等を活用する等、道路空間における新エネルギーの活用を図る

太陽光を活用した道路照明や地熱を活用した融雪施設等、太陽光や地熱等の新エネルギーを活用した施設の整備を全国でモデル的に実施。

自動車交通の運用の効率化

ITS（高度道路交通システム）の活用等により道路交通情報の提供を充実する

1. VICSの一層の普及促進
2. 2007年から一つのITS車載器で多様なサービスを開始するため、規格・仕様を策定。
3. ETC車載器購入の助成等ETCの一層の普及促進。

渋滞の主な原因の1つである違法な路上駐車をなくす

放置駐車違反車両取締り強化による駐車需要の高まりに対応するため、駐車場整備を促進。

---

**(参考2)**  
**重点地区における取り組み**

# 【京都】CO2削減！エコロード・キャンペーンプロジェクト(京都府)

## 概要(背景・目的)

- ニュータウンの造成等で世帯数が過去10年で**2割増**

亀岡市 世帯数約35,000世帯 人口約97,000人(府内3位)  
H20年度山陰本線複線化開業予定  
・京都市へは快速で20分  
・JR亀岡駅の1日平均乗降客数は約19,700人/日

- 亀岡市域の国道9号においては、**通勤時に慢性的渋滞**が発生。

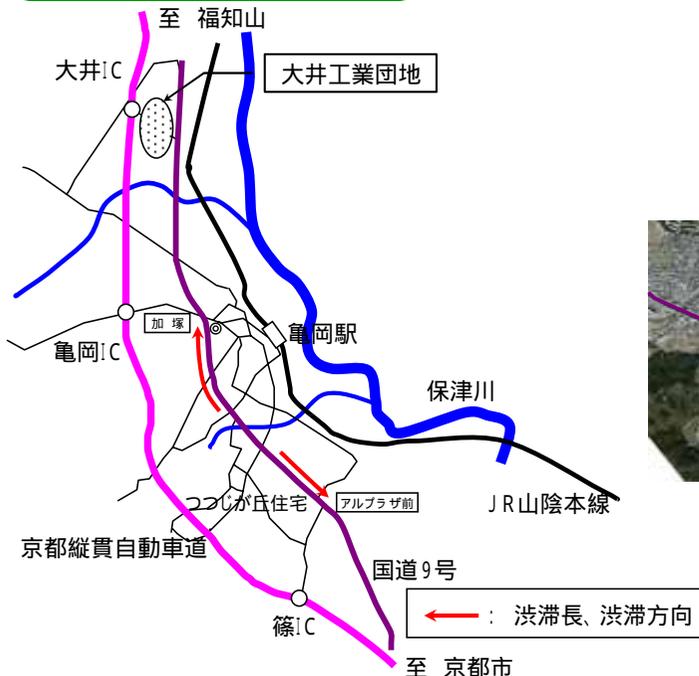
朝の通勤時間帯最大で加塚交差点北行方面:1,450m渋滞  
大井工業団地等亀岡以北の**目的地側による渋滞**  
アルプラザ前交差点南行:800m渋滞  
京都市方面へ通勤する**出発側による渋滞**

交通渋滞に伴う**CO2の排出が増加**

➡ 国道9号の交通流の円滑化を図るため、自動車から排出される**CO2の削減への取組みを実施します。**

## 対象範囲

京都府亀岡市



## 実施主体

国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所・近畿運輸局・京都府・亀岡市からなる「亀岡地域通勤交通社会実験検討会議」

## 取組内容

京都府亀岡市の工業団地企業や一般市民を対象に、コミュニケーション・広報活動を通じて、**エコドライブの普及**や**高速道路の利用等の促進**を図り、**CO2削減**を目指します。

- **公共交通利用促進**  
公共交通マップを作成・配布し、情報提供することにより、自家用車利用を控え、公共交通の利用を呼びかけます。
- **京都縦貫自動車道の利用促進**  
京都縦貫自動車道の利用を促し、一般道の渋滞緩和によりCO2削減に寄与することをPRします。
- **エコドライブの普及促進**  
ポスター・パンフレット・ステッカー・マグネットを活用して、**国民へ啓発・情報発信**を行います。



ステッカー



マグネット



# [大阪] CO2削減！エコロード・キャンペーンプロジェクト(大阪市)

## 概要(背景・目的)

- 大阪市港区を南北に形成する一般国道43号は、阪神高速西大阪線との複断面構造。府道や国道172号等の幹線道路との平面交差が短区間に存在し、**慢性的な交通混雑が発生**。

国道43号

交通量約3万台/日、大混率33%、平日混雑度2.17  
混雑時平均旅行速度が6.2km/hと遅い。

- 交通渋滞に伴うCO2排出が増加  
(2002年 大阪市；2140万t)

➡ 国道43号の交通流の円滑化を図るため、自動車から排出される**CO2の削減への取組みを実施します**。

## 実施主体

国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所・近畿運輸局・環境省近畿地方環境事務所・大阪府・大阪府地球温暖化防止活動推進センター・大阪市・(社)港産業会・港区都市環境協議会・学識経験者からなる「環境にやさしい交通を進めるプロジェクト」検討会

## 対象範囲

大阪市港区



## 取組内容

港区内の事業所や一般市民を対象に、コミュニケーション・広報活動を通じて、**エコドライブの普及や高速道路の利用等の促進を図り、CO2削減を目指します**。

- 環境にやさしいクルマの使い方を促すコミュニケーション活動の実施  
大阪府トラック協会港支部の28事業所ドライバー及び従業員(814名)対象に、環境にやさしいクルマの使い方を促すコミュニケーション活動を実施しました。

[結果報告(抜粋)]

事後調査の回答者281名の通勤・業務における自動車利用削減により、**年間で38.7tのCO2排出量を削減**

広報「みなと」掲載予定

引き続き対象事業所を拡大して実施します。

- 公共交通利用促進

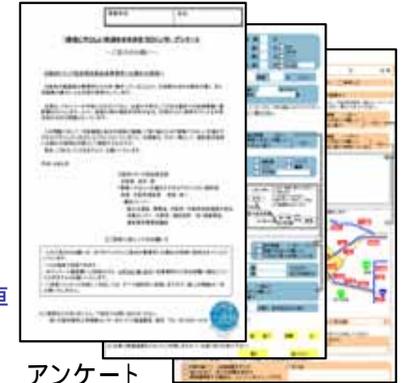
バスマップを作成・配布し、情報提供することにより、自家用車利用を控え、公共交通の利用を呼びかけます。

- 阪神高速5号湾岸線等、高速道路の利用促進

阪神高速5号湾岸線等の利用を促し、一般道の渋滞緩和によりCO2削減に寄与することを小冊子でPRします。

- エコドライブの普及促進

ポスター・パンフレット・ステッカーを活用して、国民へ啓発・情報発信を行います。



アンケート



バスマップ



ステッカー

H18.12月に大阪市民を対象としたイベント(講習会)を実施予定。  
・「環境にやさしい未来のクルマと街」児童絵画展の表彰式後、学識経験者による講習会

# [奈良]CO2削減！エコロード・キャンペーンプロジェクト(奈良県)

## 概要(背景・目的)

- 奈良市中心部(国道24号、369号)では、平日朝夕の通勤時間・休日の観光交通による、慢性的な交通混雑が発生。

国道24号(柏木町 H17.10)

交通量約65000台/日、大混率12.1%、平日混雑度1.17  
混雑時平均旅行速度が18.7km/h

国道369号(二条大路南1丁目 H17.10)

交通量約43000台/日、大混率13.3%、平日混雑度1.15  
混雑時平均旅行速度が18.5km/h

⇒ 平城京遷都1300年記念事業(2010年)に向け、市内中心部の交通流の円滑化を図り、自動車から排出されるCO2削減への取組みを実施します。

## 対象範囲

奈良県奈良市他



## 取組内容

奈良市内の一般市民を対象に、コミュニケーション・広報活動を通じて、エコドライブの普及やパークアンドサイクルライド等の促進を図り、CO2削減を目指します。

- 公共交通の利用促進

公共交通マップを作成・配布し、情報提供することにより、自家用車の利用を控え、公共交通の利用を呼びかけます。

【実施主体】

国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所・近畿運輸局・奈良県・奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・交通事業者(鉄道・バス)等からなる「奈良県モビリティ・マネジメント協議会」

- パークアンドサイクルライド

休日観光による市内中心部のマイカー流入を抑制し、交通混雑を緩和させ、CO2削減を図ります。

【実施主体】

国土交通省奈良国道事務所  
奈良県  
奈良市



- エコドライブの普及促進

ポスター・パンフレット・ステッカーを活用して、国民へ啓発・情報発信を行います。

環境シンポジウム(H19.1月)  
基調講演、パネルディスカッション予定



ステッカー



奈良国道事務所広報誌